

平成30年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月11日

上場会社名 株式会社ジンス 上場取引所 東  
 コード番号 3046 URL https://corp.jins.com/jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 山脇 幹也 (TEL) 03-5275-7001  
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第1四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第1四半期	11,695	5.0	548	△29.7	426	△39.5	166	△55.5
29年8月期第1四半期	11,135	11.9	779	151.6	703	155.9	374	1,291.8

(注) 包括利益 30年8月期第1四半期 189百万円(△45.6%) 29年8月期第1四半期 347百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第1四半期	6.94	—
29年8月期第1四半期	15.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第1四半期	30,790	16,842	54.7
29年8月期	30,354	17,515	57.7

(参考) 自己資本 30年8月期第1四半期 16,842百万円 29年8月期 17,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	36.00	36.00
30年8月期	—	—	—	—	—
30年8月期(予想)	—	0.00	—	48.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,210	10.0	2,600	28.7	2,400	26.8	1,500	67.7	62.56
通期	55,360	9.7	6,600	22.2	6,200	18.6	3,800	37.3	158.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年8月期1Q	23,980,000株	29年8月期	23,980,000株
② 期末自己株式数	30年8月期1Q	3,491株	29年8月期	3,491株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年8月期1Q	23,976,509株	29年8月期1Q	23,976,509株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年9月1日～平成29年11月30日）における国内経済は、好調な企業業績に伴う設備投資回復の兆し、雇用環境の改善、消費者マインドの持ち直しなどを背景に緩やかな回復基調が続いております。一方、世界経済に目を向けると、米国における政策運営、中国経済の動向、地政学的リスクの高まりなど、我が国の景気が下押しされる懸念もあり、先行きは不透明な状況であります。

国内眼鏡小売市場（視力矯正眼鏡）は、平成28年3月以降、前年同期比マイナスの傾向が継続しており、引き続き弱含みに推移しております。

このような市場環境の中で、当社グループのアイウェア事業では、予てより経営課題と掲げている商品戦略の再構築、店舗オペレーションの改善などの取り組みを推進しているものの、平成29年3月より導入した3プライス制の新価格戦略の効果がまだ限定的であること、それに伴う商品開発も不十分であること等により、国内アイウェア専門ショップ既存店売上が前年同期を下回りました。国内アイウェア事業において更なる成長を実現していくためには、商品力の向上及び接客力、店舗マネジメント力の強化が必要不可欠と認識しており、引き続きこれらの諸課題に対してより一層注力してまいります。

店舗戦略につきましては、従来のショッピングモール形態での出店に加え、郊外ロードサイド型店舗の開発に注力し、その効果が今後顕在化していくものと考えております。

店舗展開につきましては、当第1四半期連結会計期間末におけるアイウェア専門ショップの店舗数は、国内直営店333店舗（出店10店舗、退店なし）、中国直営店113店舗（出店11店舗、退店1店舗）、米国直営店4店舗（出店、退店なし）の合計450店舗となりました。

売上高総利益率につきましては、引き続き徹底した原価管理を行っており、円安による影響及び売上高に占めるセール構成比が増加したものの、76.2%と前年同期比0.1ポイントの改善となりました。

販売管理費につきましては、主に広告宣伝費等が増加したことにより、前年同期比8.7%増となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高11,695百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益548百万円（前年同期比29.7%減）、経常利益426百万円（前年同期比39.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益166百万円（前年同期比55.5%減）となりました。

なお、海外連結子会社（海外アイウェア事業）につきましては、平成29年7月1日～平成29年9月30日を第1四半期連結累計期間として取り込んでおります。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比につきましても前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

#### セグメント別の売上高

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)	構成比	前年同期比
国内アイウェア事業	9,495百万円	81.2%	1.9%
海外アイウェア事業	1,636百万円	14.0%	42.1%
雑貨事業	563百万円	4.8%	△15.8%
その他	0百万円	0.0%	△21.2%
合計	11,695百万円	100.0%	5.0%

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### 〈国内アイウェア事業〉

国内アイウェア事業につきましては、Jasper Morrison (プロダクトデザイナー) が手がけた「JINS SCREEN」を展開するとともに、絵本などでおなじみの「MOOMIN×JINS」、英国リバティ社との「LIBERTY FABRICS コラボメガネ」、山手線新型車両の素材を使用した「E235系×JINS」を始めとした様々なコラボ商品が順調な売れ行きとなりました。しかしながら、秋冬物の新作「JINS×TIME」シリーズの販売不振及び天候不順等の外部要因も重なり、10月度の国内アイウェア専門ショップにおける既存店売上高が前年同月比減少となりました。

一方、1日使い捨てコンタクトレンズ「JINS 1DAY」発売によるコンタクトレンズ事業参入を公表するなど、当社の目指すアイウェアの「あたらしい、あたりまえ」実現に向けて新たな取り組みも開始いたしました。

店舗展開につきましては、計画通りに進捗し、国内直営店舗数は333店舗となりました。

以上の結果、国内アイウェア事業の業績は、売上高9,495百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益589百万円(前年同期比29.5%減)となっております。

#### 〈海外アイウェア事業〉

海外アイウェア事業につきましては、中国における競争環境が激しさを増しているものの、模倣店との差別化を浸透させながら、既存店売上高が伸長したこと及び新規出店が加速したことにより、同地域における利益の積み増しが図れております。

米国においては、米国向けデザイン商品の投入及び店舗オペレーションの改善等により既存店売上高が大幅に増加し、また、レンズの調達先変更により売上高総利益率も上昇したことで収益環境が改善しております。

店舗展開につきましては、店舗数は海外直営店117店舗となりました。

以上の結果、海外アイウェア事業の業績は、売上高1,636百万円(前年同期比42.1%増)、営業利益53百万円(前年同期は営業損失59百万円)と当第1四半期連結累計期間で黒字となりました。

#### 〈雑貨事業〉

雑貨事業につきましては、メンズ雑貨事業、レディース雑貨事業の収入により構成されております。

雑貨事業を取り巻く環境は、通販サイト及び中古市場の台頭等により厳しさが急速に増しており、当社グループの業績も少なからずその影響を受けております。市況の急激な変化に対応できるよう店舗オペレーション及び商品戦略の見直しを行い、業績の回復に注力してまいります。

店舗展開につきましては、メンズ雑貨専門ショップ21店舗(出店1店舗、退店なし)、レディース雑貨専門ショップ20店舗(出店1店舗、退店1店舗)となりました。

以上の結果、雑貨事業の業績は、売上高563百万円(前年同期比15.8%減)、営業損失95百万円(前年同期は、営業利益2百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	平成29年8月期末 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結 会計期間末 (平成29年11月30日)	増減	増減率(%)
総資産	30,354	30,790	436	1.4
負債	12,838	13,948	1,109	8.6
純資産	17,515	16,842	△673	△3.8

### (イ)資産

流動資産は、15,455百万円となり、前連結会計年度末に比べ240百万円減少いたしました。

これは主に、法人税等の支払いにより現金及び預金が減少したことによるものであります。

固定資産は、15,244百万円となり、前連結会計年度末に比べ684百万円増加いたしました。

これは主に、新規出店等に伴い建物及び構築物等の有形固定資産が623百万円増加したことによるものであります。

繰延資産は、90百万円となり、前連結会計年度末に比べ8百万円減少いたしました。これは主に、開業費の償却を行ったことによるものであります。

以上により、総資産は30,790百万円となり、前連結会計年度末に比べ436百万円増加いたしました。

### (ロ)負債

流動負債は、10,285百万円となり、前連結会計年度末に比べ957百万円増加いたしました。

これは主に、短期借入金が2,194百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、3,663百万円となり、前連結会計年度末に比べ152百万円増加いたしました。

これは主に、資産除去債務が236百万円増加したことによるものであります。

以上により、負債合計は13,948百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,109百万円増加いたしました。

### (ハ)純資産

純資産合計は、16,842百万円となり、前連結会計年度末に比べ673百万円減少いたしました。

これは主に、配当金の支払い863百万円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成29年10月12日に発表いたしました業績予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,860	5,844
受取手形及び売掛金	3,305	2,980
商品及び製品	4,310	5,289
原材料及び貯蔵品	196	316
その他	1,023	1,024
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	15,696	15,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,128	6,676
その他（純額）	1,764	1,840
有形固定資産合計	7,893	8,516
無形固定資産		
投資その他の資産	1,867	1,826
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,744	3,783
その他	1,054	1,117
投資その他の資産合計	4,799	4,901
固定資産合計	14,559	15,244
繰延資産		
開業費	98	90
繰延資産合計	98	90
資産合計	30,354	30,790

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,655	1,596
短期借入金	1,900	4,095
1年内返済予定の長期借入金	386	386
未払金及び未払費用	2,512	2,708
未払法人税等	1,360	206
資産除去債務	20	20
その他	1,491	1,271
流動負債合計	9,327	10,285
固定負債		
長期借入金	1,560	1,500
資産除去債務	187	424
その他	1,762	1,737
固定負債合計	3,510	3,663
負債合計	12,838	13,948
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,202	3,202
資本剰余金	3,179	3,179
利益剰余金	11,167	10,471
自己株式	△1	△1
株主資本合計	17,547	16,851
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△32	△9
その他の包括利益累計額合計	△32	△9
純資産合計	17,515	16,842
負債純資産合計	30,354	30,790

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
売上高	11,135	11,695
売上原価	2,661	2,784
売上総利益	8,473	8,911
販売費及び一般管理費	7,694	8,363
営業利益	779	548
営業外収益		
受取利息	1	0
受取賃貸料	5	4
その他	0	2
営業外収益合計	6	7
営業外費用		
支払利息	32	37
支払手数料	1	0
為替差損	39	33
不動産賃貸費用	—	46
開業費償却	8	8
その他	0	2
営業外費用合計	82	129
経常利益	703	426
特別損失		
倉庫移転費用	—	42
固定資産除却損	54	28
店舗閉鎖損失	8	—
その他	0	1
特別損失合計	63	72
税金等調整前四半期純利益	640	353
法人税、住民税及び事業税	219	140
法人税等調整額	46	46
法人税等合計	266	187
四半期純利益	374	166
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	374	166

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	374	166
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△26	22
その他の包括利益合計	△26	22
四半期包括利益	347	189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	347	189
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前連結会計年度(自 平成28年9月1日 至 平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	雑貨事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,314	1,151	669	11,135	0	—	11,135
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13	—	—	13	—	△13	—
計	9,328	1,151	669	11,148	0	△13	11,135
セグメント利益又は損 失(△)	836	△59	2	778	0	—	779

(注) 1 「その他」の区分は、全社部門等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ. 当連結会計年度(自 平成29年9月1日 至 平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内 アイウェア 事業	海外 アイウェア 事業	雑貨事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	9,495	1,636	563	11,695	0	—	11,695
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	—	—	14	—	△14	—
計	9,509	1,636	563	11,709	0	△14	11,695
セグメント利益又は損 失(△)	589	53	△95	547	0	—	548

(注) 1 「その他」の区分は、全社部門等であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、「その他」で区分していた雑貨事業について、量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。これに伴い、前第1四半期連結累計期間の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で記載しております。